

令和6（2024）年度 第3回かしわざきこども大学運営協議会 議事録

- * 日 時 令和7（2025）年3月10日（月） 午後6時30分～午後7時25分
- * 会 場 柏崎市役所 4階 4-3・4-4会議室
- * 出席委員 9名 佐藤会長、前澤副会長、蓮池委員、八木委員、遠山委員、松谷委員、
関沢委員、土田委員、猪爪委員
- * 欠席委員 1名 片桐委員
- * 事務局 8名 本間教育部長
【学校教育課】矢沢課長、廣田係長、千原副主幹、樋口主査
【保育課】細山課長代理
【商業観光課】土田主事、北村主事

1 開会 司会：廣田係長

2 挨拶 佐藤会長

いつになったら春が訪れるのだろうかという天候ではあるが、もう3月10日となった。10月の運営協議会では令和6（2024）年度の報告と令和7（2025）年度の事業計画案について御意見をいただいたが、今日また煮詰めていただき、来年度良いスタートが切れるよう、本日も御意見をよろしくお願ひしたい。

3 議事 進行：佐藤会長

(1) 令和6（2024）年度 事業実施状況について 【事務局】

ア 自然体験コース 資料1

今年度は、計31園の保育園・幼稚園が自然体験コースを実施した。普段の園生活の中だけでは体験できない貴重な経験ができたという感想を多くいただいた。参加園から実施報告書の提出を受けたので、取りまとめたものを来年度作成する「実施報告書」に掲載したい。

イ キャリア教育コース 資料2

前回の第2回の会議での報告後、第二中学校、東中学校でキャリア教育コースを実施した。年間では計4校10クラスで実施した。生徒や教員、保護者サポーターの感想については資料を御確認いただきたい。

ウ ものづくりのまち歴史・探求コース 資料3

11月9日（土）の9～12時に実施し、小学4～6年生8名が参加した。新潟岡本硝子株式会社の見学と、ものづくりのあゆみバスツアーを行った。参加した児童からは、「柏崎には世界に通用する工場があることがわかった」、「次があったらまた参加してみたい」という感想が寄せられた。

エ 国際交流コース 資料4

12月21日（土）の9時45分から11時45分に市民プラザを会場にクリスマスのつどいを開催し、26名の児童が参加した。柏崎市内及び刈羽村のALT7名にサポートしてもらい、クリスマスの雰囲気満載の楽しい時間となった。事後アンケートでは、参加し

た全員が「とても楽しかった」、「また参加したい」と回答した。

オ ものづくり工作コース 資料5

2月15日(土)に市民プラザ海のホールを会場に、子どもロボット工作教室を開催し、15名の児童が参加した。新潟工科大学の大金准教授と学生7名が講師となり、製作のサポートを行った。10時から16時までという長丁場ではあったが、子どもたちは集中を切らさずロボットの製作に取り組んでいた。事後アンケートでは、13名が「とても楽しかった」、2名が「楽しかった」と回答した。難易度を問う設問では「難しかった」、「とても難しかった」と11名が回答し、少し難易度は高かったことが伺えた。

カ 学校教育活動推進事業 資料6

市内の小中学校全校が実施し、実施報告書が提出された。総合的な学習の時間、食育、地域との連携等、様々な事業が実施でき大変ありがたかったとの感想を学校からいただいた。各学校で特色のある取組を行っているので事業報告書で確認をお願いしたい。

キ こどもの笑顔創造プロジェクト

今年度は、9団体が事業を実施しており、現在実績報告書の提出がされているところである。来年度の第1回の会議では、令和6(2024)年度の各実施団体の実績を報告させていただきたい。

－質疑・応答－

【委員】 キャリア教育コースのいきいきゲームを見学したが、子供たちがいきいきと楽しそうにやっていて、失敗を恐れないことをゲーム形式で学べていた。社会に出たときに役立ててほしいと思いながら見させてもらった。

【委員】 ものづくりのまち歴史・探求コースについて、土曜日の開催であったが、新潟岡本硝子株式会社の社員の方は、このために出勤し準備してくださったのか。

【事務局】 工場自体は24時間体制で稼働しているが、このコース実施に合わせて出勤してくださった方もおり、社長をはじめ大変たくさんの方に出迎えていただいた。

【委員】 国際交流コースについて、活動中英語はどれくらい使っていたのか。

【事務局】 A L Tはほぼ英語で活動していた。子どもたちは雰囲気や流れ、ジェスチャーを含めてではあるが、一生懸命理解しようとして頑張っていた。単語レベルではあるが、英語を口に出すこともできていた。

【委員】 ものづくり工作コースについて、難しかったと感じた児童が多かったようだが、昨年度までと同じキットを使用したのか。

【事務局】 例年と同じキットを使用した。今回参加した児童の内訳が4年生7人、5年生5人、6年生3人であり、低学年の児童が多かったことが難しかったとの感想が多くあがった要因の一つとして考えられる。

【委員】 学校教育活動推進事業の実施報告書に、いくつかの学校で「同和教育」と記載があるが、どういった内容だったのか。

【事務局】 人権問題、主に部落問題である。

(2) かしわざき子ども育成基金 寄附状況について 資料7

今年度のかしわざき子ども育成基金への寄附状況について報告する。毎月、東芝エネルギー

ーシステムズ株式会社様から自動販売機による売上金の一部金額を御寄附いただいている。また、6月にフラワーショップ guanabo 様から、9月に新潟病院附属看護学校様からも御寄附をいただいた。皆様からの温かい御寄附を、かしわざきこども大学の資金として有効に活用させていただく。

－質疑・応答－

なし

(3) 令和7（2025）年度 実施予定事業について 【事務局】

ア コース全体について 資料8

令和7（2025）年度実施予定事業については、前回10月の第2回会議でお示した内容を基に、令和7（2025）年度の予算案として議案を提出し、議会にて現在審議が行われている。議会の承認後、速やかに各コースの実施に向けた準備を進めていく予定でいる。前回、10月の会議後に見積もりの結果等を踏まえ修正した事項についてお伝えする。自然体験コースのバス借上料は、1,050,000 円を 1,134,100 円に増額した。ドローンプログラミング教室の委託料は、400,000 円を 125,000 円に減額した。国際交流コースの会場借上料は、80,000 円を 50,000 円に減額した。エネルギーのまち、柏崎探求コースは、講師謝礼 18,000 円を 12,800 円、バスの借上料 200,000 円を 147,400 円、消耗品費 32,000 円を 20,000 円に減額し、参加者用資料と広報チラシの印刷費として複写機借上料 15,000 円を追加した。歴史・文化財探検コースは、バス借上料 200,000 円を 52,800 円に減額した。

－質疑・応答－

【委員】 エネルギーのまち柏崎探求コースで複写機の借上料を計上しているが、他のコースでは発生しないのか。

【事務局】 このコースでの支出を想定しているが、他のコースでも発生する場合、予算の範囲内でここから支出する可能性はある。

【委員】 こども大学の新たなコースとして、スマホに関すること、情報モラルやリテラシーに関することを取り入れてはどうか。多くの子どもたちがSNSやオンラインゲームをやっているが、事件に巻き込まれたといった報道もよく耳にする。無料のアプリを簡単にダウンロードして使っているが、バックでどうなっているのか知らない人も多い。セキュリティ面や、危険性等のデメリットも含めて子どもたちに教える場があってもいいのではないだろうか。

【委員】 市内の学校で使用するタブレットの配布対象は小中学生全員か。

【事務局】 小学1・2年生も対象となり、現在は全学年に配布されている。

【委員】 そうすると学校でも日々使い方やリテラシー等といった情報教育が進んでいるように思うがどうか。

【事務局】 学校教育課で推奨する学習用のソフトを配信しており、各学校にはそれを活用して年間計画に基づき指導するよう伝えている。スマホの利便性に潜む危険性についても、学年に応じて指導しているところだが、なかなか指導が浸透せず、困った状況も多々

あり、市P連や青少年健全育成市民会議で題材として取り上げ学習会をする等している。

【委員】 情報教育については日々学校と家庭とが連立してやっていく必要がある。また、今回提案いただいたような内容も検討いただきたい。

【事務局】 キャリア教育コースについて、いきいきゲームのプログラム提供元である株式会社ウィルシードから、実施団体の減少により令和8（2026）年度から実施が難しいとの連絡があった。令和6（2024）年度は、3自治体、計35クラスの実施であったと聞いている。そのため、令和7（2025）年度をもっていきいきゲームは最後とさせていただきたいと考えている。

イ 令和7（2025）年度こどもの笑顔創造プロジェクト応募団体について 【事務局】
資料9-1, 9-2

令和7（2025）年度の「こどもの笑顔創造プロジェクト」に応募申請した実施希望団体は、7団体である。資料9-1の一覧表に中学校区別にまとめてあるので、確認いただきたい。また、令和7（2025）年度は新規団体からの応募はなかった。なお、各応募団体から提出された提案書は、資料9-2のとおりである。

本日の会議で、実施希望団体の提案内容を審議していただき、承認の可否についての決定をお願いしたい。

一 質疑・応答一

【委員】 予算が先細りしている現状や、柏崎の教育や子どもたちのためにいただいた貴重な寄附金を活用していることを踏まえると、この事業について見直しが必要なのではないかと思う。長年同じ団体が同じ内容を続けている、子どもたちの参加人数が少ないというものについて、ずっと承認し続けるのはどうなのか。年数の制限を設けてはどうか。また、学校教育活動推進事業だけでも、十分に学校と地域との接点が設けられていると思う。

【委員】 来年度の応募はどういった状況か。

【事務局】 来年度の応募は7団体である。11ある中学校区から1団体ずつ応募があることを想定し予算を確保しているが、近年応募団体が減り、固定化してきているのが現状である。

【委員】 令和7（2025）年度応募団体は令和6（2024）年度も実施した団体か。

【事務局】 令和6（2024）年度の9団体のうち2団体からは応募がなかったが、残りの7団体は令和6（2024）年度以前から継続して実施している団体で、内容も概ね前年同様のところが多い。

【委員】 各学校や地域としてはありがたい補助金だとは思いますが、限られた財源の中ではあるので、毎年やっているからということではなく、見直す機会を持つのも大事という貴重な意見をいただいた。

【事務局】 地域と学校が一体となった体験活動等がある一方で、地域の行事に一部の子どもが参加しているような形態もあるということで、団体ごとに若干状況が異なる。

【委員】 保育園から中学校まで網羅されているような活動に対する補助は必要であると思っ

いる。

【事務局】 こどもの笑顔創造プロジェクト補助金の交付要綱の終期が令和7（2025）年度末となっている。期間を延長するのか、内容や要件を変更するのか、あるいは廃止とするのか、事務局で検討していきたい。

- 採決 -

【委員】 令和7（2025）年度こどもの笑顔創造プロジェクト応募7団体を補助対象とすることについて、承認。

4 連絡事項 【事務局】

(1) 令和5（2023）年度 かしわざきこども大学実施報告書（案）について

令和5（2023）年度のかしわざきこども大学の概要をまとめた実施報告書の案を作成した。御意見等ある場合は、事務局までお知らせいただきたい。

(2) 今後のスケジュールについて

今年度の会議は今日で最終となる。また、現任期も3月末をもって満了となる。大変ありがとうございました。

5 閉会 本間教育部長

皆様から様々な御意見をいただき感謝する。こどもの笑顔創造プロジェクトについては、非常に大切な問題提起がなされた。我々行政側としては、予算の使い方といったところに関りがあるため、一番目配りをしなければならないところである。一旦立ち止まって、検討を進めて参りたい。今月末で2年間の任期が終了するということだが、次回も委員としてお世話になる方におかれては、引き続きよろしくお願ひしたい。そうでない方におかれては、今後ともこども大学に関心を持っていただき、様々な立場からお力添えをいただければ幸いである。